

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		利用定員数では、十分な活動スペースを設けている。活動内容に応じて、部屋を分ける等の対応もできている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		言語聴覚士・作業療法士・保育士・発達障がい者専門員と各専門の職員を配置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		車椅子利用の方も移動がしやすいように、環境を整えている。活動ごとに部屋を分け、利用者の方が分かりやすいように配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		気持ちよく利用していただけるように、清掃も心がけている。子どもたちに応じた配慮を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		定期的に会議を設け、現状の見直し、振り返りを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		評価表を保護者の方に配布し、集計後、振り返りを行っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		スタッフ向けの評価表と保護者向けの評価を比較しながら、改善点を見直している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在は行っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		法人内研修や、外部で行われている研修にも参加し、資質向上を目指している。できるだけ研修会には積極的に参加できるよう、業務の調整等も行い、研修の伝達なども必ず行うようにして、スタッフの質の強化に努めていきたい。
適切	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		子どもの状況を把握し、子どもや保護者のニーズに応じた計画書を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		子どもの様子や保護者の方からのアセスメント、事業所のアセスメントを取り、子どもの状況把握に努めている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		計画を立てる際には、「発達支援」「家族支援」「地域支援」を考慮しながら設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		その都度、計画に沿った振り返りを行い、適切な支援を行っている。

は 支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	職員間で話し合いながら、行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	それぞれの専門分野を生かした活動プログラムを設定し、子どもたちにも飽きが来ないように考慮している。ST、OT、保育士の役割を決め、利用者のニーズに応じたより良い支援や活動プログラムを考え、実施していきたい。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○	STやOTの個別の活動や、保育での集団の活動を組み合わせながら、個々の状況に合わせた支援ができるように工夫している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	毎日記録をつけ、職員間で共有している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	必ず、その日のうちに支援内容を振り返り、情報共有し、次の支援へつなげるようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	個人の記録は丁寧に取るようにしている。次の支援につながるように振り返りも行っている。
	20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	児童発達支援管理責任者が関係機関と情報共有をしたり、事業所内でも情報共有してモニタリングを行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	会議には、児童発達支援管理責任者やSTなどの専門員が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	保健師や相談員が関係者と連携し、支援を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	医療的ケアが必要な子どもも利用しており、必要に応じて情報共有しながら関係機関と連携を図っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	現在、医療的ケアが必要な子どもはいるものの、事業所内では医療的ケアは行っていない。今後、事業所内で医療的ケアが必要な場合には、入念な準備をしていきたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	各保育所と常に情報共有しながら、支援につなげている。個々の特性に応じたサービス提供を意識し、関係機関と支援内容の情報共有をするようにしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	児童発達支援事業は、開所して間もないので、まだ移行支援は行っていないが、今後は、小学校に入学する前などには、丁寧に移行支援を行っていききたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	別府発達医療センターからの施設支援で助言を受けたり、相談会などで助言を求めているようにしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	今は、そのような活動は行っていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	自立支援協議会には、法人内のスタッフが参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	連絡帳の記入や、送迎時にその日の様子を保護者へお伝えしている。また、モニタリング時期に、成長の様子や現状について報告している。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・プログラム等）の支援を行っているか	○		毎年、ペアレント・プログラムをいきいきっ子クラブ等利用中の保護者や地域の保護者に向けて行っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用開始の時に行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者には、日ごろの様子を伝えたり、ご自宅での様子や・学校での様子を総合的に考慮した点の説明を行い、保護者の意見もうかがいながら、計画書の同意を得るようにしている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		普段から日頃の様子をうかがうようにしており、その都度相談に応じることができるよう支援を行っている。職員全員が「ご利用児や保護者にとって、いきいきっ子クラブ国東が安心して利用できる場」となるように意識し、対応していきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今年度は、児童発達支援事業の保護者会を企画し、保護者会を開催したが、当日のキャンセルなどもあり、参加者がいない状況であった。その反省も含め、今後の保護者会の目的や内容なども検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		そのような場合には、保護者や子どもたちからの申し入れにできる限り対応できるようにしていきたい。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、いきいきっ子国東だよりを発刊している。日頃の子どもたちの様子や活動内容などをお知らせしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		留意している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		その子どもにとって、どの手段が分かりやすいかを考慮しながら、支援を提供している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		現在は、行っていない。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練を定期的に行いながら、常に備えている。同時にBCPや安全計画の訓練、見直しなども実施していく。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		利用前に保護者へのききとりで、服薬・てんかん発作等の状況確認を行っている。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者からの聞き取りで、対応を行っている。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット・事故報告書を作成し、職員間で共有している。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会や身体拘束適正委員会等の研修に参加している。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		やむをえず身体拘束を行う際には、計画書に記載し、保護者への同意を得るようにしている。